



# 慈林小だより



令和7年度 冬休み号 令和7年12月24日(水)

可愛くば 五つ教えて 三つほめ 二つ叱って良き人となせ

校長 石原 昌治

11月29日(土)の音楽会公開には、多くの保護者の皆様にご来校いただき誠にありがとうございました。子どもたちは、一生懸命練習に取り組んだ分、本番では、少し緊張したと思います。しかし、多くの方々の前で立派な合奏や合唱を披露し、大きな拍手をいただくことで、何物にも代えがたい達成感を得ることができました。音楽会をはじめとする2学期の様々な行事や学習などを通して、保護者・地域の方々、先生や友だちと関わり合い、学び合う中で、子どもたちは、また一段と大きく成長することができました。

本日、令和7年度第2学期終業式を実施し、子どもたちへ二つのことを話しました。一つ目は「自分を大切にしましょう」、二つ目は「周りの人を大切にしましょう」という内容です。一人ひとりのウェルビーイングを高めるために、どちらも大切なことだと確信しています。自分を大切にできなかつたら周りの人たちも大切にできません。それでは、子どもたち自身が、自分を大切に思うことができるようにするためには、どうすればよいのでしょうか。いろいろな方法があると思いますが、私たち周りの大人が、子どもたち一人ひとりの良さを、口に出して伝えることが大事なのではないかと思います。

埼玉県教育委員会では、「親の学習プログラム集」を作成・紹介していますが、その中に「あなたの子供のよいところ探し」というプログラムがあります。「リフレーミング」という言葉をご存じでしょうか。物事の捉え方や視点を変えて、ポジティブに転換するというテクニックです。上記のプログラムでは、子育てに活用できる「リフレーミング辞書」が紹介されています。その一例を挙げてみます。

- |                           |                                |
|---------------------------|--------------------------------|
| ○「いいかげんな」→「こだわらない」「おおらかな」 | ○「でしゃばりな」→「世話好きな」              |
| ○「意見が言えない」→「争いを好まない」      | ○「根暗な」→「自分の世界を大切にしている」         |
| ○「勝気な」→「向上心がある」           | ○「のんきな」→「細かいことにこだわらない」         |
| ○「気が弱い」→「人を大切にする」「我慢ができる」 | ○「人づきあいが下手」→「細やかな心の世界を大切にしている」 |
| ○「けじめがない」→「物事に集中できる」      | ○「プライドが高い」→「自分に自信を持っている」       |
| ○「短気な」→「感受性豊かな」「情熱的な」     | ○「周りを気にする」→「心配りができる」           |

いかがでしょうか。「そんな理想ばかり並べても・・・」「ほめてばかりでは、だめなのではないか」いろいろな声が聞こえてきそうですが、人間ほめられて嫌な人は、そういないと思います。かくいう私も、ほめられて伸びるタイプです。もちろん、他人に迷惑をかけることをした時などは、理解できるように、きちんと正しく叱る必要があります。学校でも「駄目なことは駄目」と毅然と指導していきます。

「親の学習プログラム集」では、「**可愛くば 五つ教えて 三つほめ 二つ叱って良き人となせ**」という先人の教えも紹介しています。当たり前のことを述べているようで、本当に深い言葉だな、と自戒を込めて時々振り返っています。明日から、子どもたちが楽しみにしている冬休みになります。各ご家庭において、普段よりもじっくりお子様と向き合うことができる貴重な期間だと思います。この冬休み中、試しに「ほめ言葉のシャワー」をお互いに浴びせ合ってみては、いかがでしょうか。

1月8日始業式に、笑顔溢れる幸せに満ちた子どもたちと会えるのを楽しみにしています。